

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
<p>(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当</p>	日常生活や社会で起きている変化を知り、データやAIを活用した新しいビジネス／サービスについて学ぶ。本学経営情報学部の特徴を活かして、現代社会における情報システムやIT、ICTの最新動向について実例を交えて自らの生活とそれらがどのように密接に関連しているかを理解する。例えば、製造・流通・金融・ビジネスにおける活用事例や、消費者行動、企業の経営分析などを通して、多角的に社会の動向を捉える。	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報学入門	現代社会における実例の紹介(4, 5)、データAI利活用の最新動向(8, 9, 12, 13)
	経営情報論Ⅰ	製造・流通・金融における情報システム概要と実例(2~12)、データ活用の最新動向(14, 15)
	経営情報論Ⅱ	ビジネスにおけるデータ利活用の最新動向(5~12)
	マーケティング論	e-マーケティング、IT、ICTの最新動向(13, 14)
	消費者行動論	最新の消費者行動理論(7)
	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ(10)、家計調査年報を利用した分析(12~15)
	経営分析	企業の経営分析(10~14)
<p>(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当</p>	日常生活や社会の課題を解決するために、社会でデータやAIを活用した新しいビジネス／サービスがどのように生まれてきているのかについて学ぶ。本学経営情報学部の特徴を活かして、現代社会における情報システムやIT、ICTの最新動向について実例を交えて自らの生活にどのように密接に関連しているかを理解する。例えば、製造・流通・金融・ビジネスの活用事例や、消費者行動、企業の経営分析などを通して、どのようにデータが利活用されているかについて理解する。	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報学入門	社会で活用されているデータ(5, 7, 9, 13)、データAIの活用領域(6, 8, 12)
	経営情報論Ⅰ	製造・流通・金融における情報システム概要と実例(2~12)、データ活用の最新動向(14, 15)
	経営情報論Ⅱ	ビジネスにおけるデータ利活用の最新動向(5~12)
	マーケティング論	現代におけるマーケティング(15)
	消費者行動論	消費者行動の分析(14, 15)
	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ(10)、家計調査年報を利用した分析(12~15)
	経営分析	企業の経営分析(10~14)
<p>(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当</p>	数理・データサイエンス・AIが現在様々な場面で利活用され価値を創出していることについて学ぶ。本学経営情報学部の特徴を活かして、現代社会における情報システムやIT、ICTの最新動向についても実例を交えて数理・データサイエンス・AIが創出する価値について理解する。例えば、製造・流通・金融・ビジネス・医療現場における活用事例や、消費者行動・企業経営の分析などを通して、どのようにデータが利活用され価値を創出しているかについて理解する。	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報リテラシー演習	表計算ソフトを用いたデータ分析の基礎(10, 11)
	統計学入門	データ・AI利活用のための技術(2~14)
	経営情報論Ⅰ	製造・流通・金融における情報システム概要と実例(2~12)、データ活用の最新動向(14, 15)
	経営情報論Ⅱ	ビジネスにおけるデータ利活用の最新動向(2~12)
	情報学入門	医療に関連したデータの利活用(7, 8, 12)
	消費者行動論	消費者行動の分析(14, 15)
	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ(10)、家計調査年報を利用した分析(12~15)
経営分析	企業の経営分析(10~14)	

<p>(4) 活用に当たった様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする</p> <p>※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当</p>	授業概要	
	<p>データを活用する際の留意事項について学ぶ。具体的には、3つの内容について理解していく。1つ目はネット社会で安全に暮らすための情報モラル、情報倫理についての理解を深める。2つ目に人はどのように情報と関わっていくべきかという情報との関わり方の問題について理解する。3つ目にデータや情報、プライバシーなどをどのように守るかという情報セキュリティに関する問題について理解する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報リテラシー演習	情報モラル・セキュリティ(13)
	情報倫理	情報セキュリティ・情報倫理(10~14)
経営情報論Ⅱ	セキュリティとリスク管理、プライバシーと情報倫理(14, 15)	
<p>(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p> <p>※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当</p>	授業概要	
	<p>実際のデータを用いた演習を通して、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法について学ぶ。例えば、情報リテラシー演習の時間には、毎回の授業中に実施したタイピングデータを各自で収集し、その結果を可視化し、自己分析することによって、数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法を身につける。また、外部ポータルサイトを利用し、2次データの取得・分析を通して、実社会における数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法を理解する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報リテラシー演習	データを扱う(11)、データを説明する(12)
	統計学入門	データ・AI利活用のための技術(2~14)
マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ(10)、家計調査年報を利用した分析(12~15)	
経営分析	企業の経営分析(10~14)	

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	基礎数学、統計学入門
アルゴリズム基礎	
データ構造とプログラミング基礎	ビジネスプログラミング
時系列データ解析	
テキスト解析	
画像解析	
データハンドリング	
データ活用実践(教師あり学習)	
その他	